

2019年9月17日(火) ハコラク10月号 掲載

ドクターコラム『総合診療と救急診療について』

内科・総合診療科 生方 晋史 医長

内科・総合診療科

Doctor Column 1

総合診療と 救急診療について

「総合診療科」「総合内科」といった言葉を聞いたことがありますか？この診療科が他科と大きく異なる点は、良い意味で「専門を持たない」ところかもしれません。日本では高齢化が進んでいますが、高齢の患者さんは例えば心臓、肺、腎臓などと複数の臓器を患っていることも少なくありません。その場合、おのの専門医が専門内の知識だけで対応してしまうと気付かないと

ころで弊害が生じてしまう場合があります。そのような場面でも、一つの臓器に捉われず「総合的」な目線で適切な診断や治療を行うのが総合診療医です。一方、救急診療も総合診療と重なるものがあります。救急外来にいられたばかりの多くの患者さんは「診断」が付いていません。例えば「お腹が痛い」という症状一つとっても、その原因は消化管の他に肝臓や膵臓、腎臓、膀胱、心臓、血管、また、



函館中央病院

内科・総合診療科

生方 晋史 医長

略歴 平成24年、昭和大学医学部卒業後、今村総合病院、浦添総合病院・救急集中治療部、市立奈良病院・総合診療科勤務を経て、平成31年、函館中央病院内科・総合診療科医長就任。

女性であれば子宮・卵巣などさまざまな可能性が考えられます。そういった場面で、患者さんの訴えや診察、検査などから原因を突き止めつつ迅速に適切な対応を行うことが救急医の役割です。つまり「一つの臓器にとらわれず」という総合診療の根っここの部分は救急診療にも共通するものです。また救急診療に内科的な診断力も必要である一方で、総合診療においても重症な患者さんを迅速に対応する「救急力」は不可欠であり、この二つの関係は切っても切れないものだと考えられます。

このような理想的な総合診療医、救急医であるためにはあらゆる医学分野の知識・技術を幅広く習得しておく必要があります。またそれらを日々更新していく作業も欠かせません。「専門を持たない限界」を自覚し、必要時は速やかにプロフェッショナルに紹介する判断力も必要です。総合診療・救急診療が少しでも函館の地域のお役に立てればと思います。



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目／内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全26科目
■受付時間／8:30～11:30、13:30～16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
■休診日／日曜・祝日・年末年始

